

【鹿児島県内6市町村】

大隅広域図書館ネットワークシステム

背景・取組内容

- ・鹿屋市における図書館（室）では、図書館システムの老朽化、システム化の未対応が課題。一方、周辺自治体においても導入費用が課題となり、システム導入は一部の市のみ。
- ・鹿屋市は、平成21年に、大隅地域の2市5町（垂水市、志布志市、大崎町、東串良町、錦江町、南大隅町及び肝付町）と「大隅定住自立圏の形成に関する協定書」を締結。鹿屋町、肝付町、大崎町、南大隈町、錦江町、東串良町が連携して取組む政策分野に「構成市町の住民への図書利用サービス」「図書化ネットワークシステムの構築」を追加。
- ・平成25年3月29日に鹿屋市、大崎町、南大隅町、肝付町が共同でシステム利用開始。

効果

- ・インターネット・携帯電話での蔵書検索・予約のほか、民間配送会社を利用した図書館間での書籍の取り寄せ、共通の図書カードを利用した貸出が可能となるなど、住民の利便性が向上。
- ・システム等の委託会社との間で、鹿屋市を本館、他町を分館とするコスト設定を行うことにより、町単独で導入した場合に比較して大幅なコスト削減が図られた。